

オフィスまるごとサポートデバイスマネジメント 管理サイト ユーザーマニュアル 機器

最終更新日 2018 年 7 月 18 日

株式会社オプティム
(c)東日本電信電話株式会社

1	はじめに	3
2	機器	4
2.1	マップ	5
2.1.1	ネットワークマップを表示する	5
2.2	機器	6
2.2.1	機器画面を表示する	6
2.3	機器カスタム項目	7
2.3.1	機器カスタム項目画面を表示する	7
2.3.2	機器カスタム項目を新規作成する	9
2.3.3	機器カスタム項目を編集する	9
2.3.4	機器カスタム項目を削除する	9
2.3.5	機器カスタム項目をまとめて削除する	9
2.3.6	機器カスタム項目の設定セット入力値	10
2.4	一括機器設定	11
2.4.1	一括機器設定画面を表示する	11
2.4.2	一括して複数の機器に設定セットを適用する	13
2.4.3	一括して複数の機器にリモート操作を行う (Android 機器／iOS 機器／Windows 機器)	14
2.5	機器インポート (新規)	15
2.5.1	機器インポート(新規)画面を表示する	15
2.5.2	新規機器をインポートする	16
2.6	機器インポート (変更)	17
2.6.1	機器インポート(変更)画面を表示する	17
2.6.2	変更機器をインポートする	18
2.7	機器レポート (エクスポート)	19
2.7.1	機器レポート(エクスポート)画面を表示する	19
2.7.2	機器レポートを確認する	20
2.7.3	機器レポートをエクスポートする	20
2.8	管理外機器エクスポート	21
2.8.1	管理外機器エクスポート画面を表示する	21
2.8.2	管理外機器をエクスポートする	21
2.9	アプリケーションレポート	22
2.9.1	アプリケーションレポート画面を表示する	22
2.9.2	アプリケーションレポートを確認する	23
2.9.3	アプリケーションレポートをエクスポートする	23
2.10	メッセージ通知	24
2.10.1	メッセージ通知画面を表示する	24
2.10.2	通知メッセージを新規作成する	25
2.10.3	通知メッセージを編集する	25
2.10.4	通知メッセージの配信先を設定する	25
2.10.5	通知メッセージをただちに配信する	25
2.10.6	通知メッセージをスケジュール配信する	26
2.10.7	通知メッセージの配信履歴を確認する	26
2.10.8	通知メッセージを削除する	26
2.10.9	通知メッセージをまとめて削除する	26
2.10.10	メッセージ通知の設定セット入力値	27
2.11	ネットワーク	28
2.11.1	ネットワーク画面を表示する	28
2.11.2	グローバルネットワークを新規作成する	30
2.11.3	グローバルネットワークを編集する	30
2.11.4	ローカルエリアネットワークを編集する	31
2.11.5	ネットワークを削除する	31
2.11.6	ネットワークをまとめて削除する	31
2.11.7	ネットワークの入力値	32

1 はじめに

本マニュアルは、管理サイトのメニュータブにある【機器】の設定に関するマニュアルです。

2 機器

機器に関する情報の確認、追加、削除、編集を行うことができます。

また、機器に対する一括設定、一括操作を行うことも可能です。

設定項目は以下のとおりです。

設定項目名	ページ
マップ	5
機器	6
機器カスタム項目	7
一括機器設定	11
機器インポート (新規)	15
機器インポート (変更)	17
機器レポート (エクスポート)	19
管理外機器エクスポート	21
アプリケーションレポート	22
メッセージ通知	24
ネットワーク	28

2.1 マップ

ネットワークマップを表示します。

※ページリンクでマップをクリックした際と同様の画面を表示します。画面の詳細は以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－マップ」

2.1.1 ネットワークマップを表示する

ネットワークマップを表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [マップ]をクリックします。

2.2 機器

機器画面を表示します。

※ページリンクで機器をクリックした際と同様の画面を表示します。画面の詳細は以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－機器」

2.2.1 機器画面を表示する

機器画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [機器]をクリックします。

2.3 機器カスタム項目

機器カスタム項目には、作成したグループより選択する「分類」と、入力欄が表示され自由に入力できる「自由入力」があります。「分類」には部署名や役職名などを登録することができます。ここで分類を作成し、機器を所属させることで、機器の設定(アプリケーション禁止、発信先制限等)を1台ずつ行わなくても、一括で設定することができます。設定を行った時点でその分類に所属している機器に設定が反映されます。

「自由入力」には資産番号などを登録することができます。機器情報の入力欄として追加されるため、機器ごとに追加で情報を登録することができます。また、「機器から入力可」にチェックを入れると、機器から直接機器情報(「分類」、「自由入力」)を登録することが可能です。

※分類ごとの一括での設定方法は以下を参照してください。

⇒一括機器設定 11 ページ

2.3.1 機器カスタム項目画面を表示する

機器カスタム項目画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [機器カスタム項目]をクリックします。

【機器分類】

The screenshot shows the 'Machine Classification' (機器分類) interface. It features a left sidebar with a list of classifications and a main area for editing a selected classification. Red boxes and numbers highlight specific UI elements:

- 1**: Points to the '分類' (Classification) tab at the top left.
- 2**: Points to the '+' icon for adding a new classification.
- 3**: Points to the '-' icon for removing a classification.
- 4**: Points to the list of existing classifications in the sidebar.
- 5**: Points to the '分類1' (Classification 1) header in the main area.
- 6**: Points to the '操作' (Action) dropdown menu.
- 7**: Points to the '編集' (Edit) button at the bottom of the main area.

The main area displays the '管理情報' (Management Information) for '分類1', including fields for '項目名' (Item Name), 'グループ' (Group), and 'オプション' (Option).

グループ名	
グループ1	
グループ2	
グループ3	

オプション
機器から入力可

項番	対象	説明
1	自由入力	クリックすると自由入力画面が表示されます。表示される画面の詳細は以下の【自由入力】を参照してください。
2	[新規作成]	クリックすると機器分類入力欄が表示されます。新規作成方法は「機器カスタム項目を新規作成する」9 ページを参照してください。
3	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・全てにチェックを入れる：全てのチェックボックスにチェックが入ります。 ・全てのチェックをはずす：全てのチェックボックスからチェックを外します。 ・一括削除：チェックの入った機器分類を削除します。詳細は「機器カスタム項目をまとめて削除する」9 ページを参照してください。
4	機器分類一覧	登録されている機器分類一覧が表示されます。
5	機器分類情報	機器分類一覧より選択した機器分類の詳細が表示されます。
6	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・削除：機器分類を削除します。詳細は「機器カスタム項目を削除する」9 ページを参照してください。
7	[編集]	登録されている機器分類を編集することができます。詳細は「機器カスタム項目を編集する」9 ページを参照してください。

【自由入力】



項番	対象	説明
1	分類	クリックすると機器分類画面が表示されます。表示される画面の詳細は上記の【分類】を参照してください。
2	[新規作成]	クリックすると自由入力欄が表示されます。新規作成方法は「機器カスタム項目を新規作成する」9 ページを参照してください。
3	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・全てにチェックを入れる：全てのチェックボックスにチェックが入ります。 ・全てのチェックをはずす：全てのチェックボックスからチェックを外します。 ・一括削除：チェックの入った自由入力を削除します。詳細は「機器カスタム項目をまとめて削除する」9 ページを参照してください。
4	自由入力一覧	登録されている自由入力一覧が表示されます。
5	自由入力情報	自由入力一覧より選択した自由入力の詳細が表示されます。
6	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・削除：自由入力を削除します。詳細は「機器カスタム項目を削除する」9 ページを参照してください。
7	[編集]	登録されている自由入力を編集することができます。詳細は「機器カスタム項目を編集する」9 ページを参照してください。

2.3.2 機器カスタム項目を新規作成する

機器カスタム項目を作成します。作成した機器カスタム項目は、機器の作成および編集時に入力項目として表示されます。
入力項目に関しては、「機器カスタム項目」7 ページを参照してください。

1. 機器カスタム項目画面より[分類]タブもしくは、[自由入力]タブをクリックします。
2. [新規作成]  をクリックします。
3. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

※グループ入力欄を増やすためには[追加]  をクリックします。

※[削除]  をクリックするとグループ入力欄が削除されます。

2.3.3 機器カスタム項目を編集する

作成済みの機器カスタム項目を編集します。入力項目に関しては、機器カスタム項目を新規作成する場合と同様です。

1. [分類]タブもしくは、[自由入力]タブをクリックし、機器カスタム項目一覧より対象とする機器カスタム項目をクリックします。
2. [編集]をクリックします。
3. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。編集をキャンセルする場合は[取消]をクリックします。

2.3.4 機器カスタム項目を削除する

作成済みの機器カスタム項目を削除します。

1. [分類]タブもしくは、[自由入力]タブをクリックし、機器カスタム項目一覧より対象とする機器カスタム項目をクリックします。
2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
3. [削除]をクリックします。
4. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.3.5 機器カスタム項目をまとめて削除する

登録済みの機器カスタム項目を複数指定して削除します。削除したい機器カスタム項目が多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

1. [分類]タブもしくは、[自由入力]タブをクリックし、機器カスタム項目一覧より対象とする機器カスタム項目のチェックボックスにチェックを入れます。
2. [その他の操作]  をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
3. [一括削除]をクリックします。
4. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.3.6 機器カスタム項目の設定セット入力値

機器カスタム項目では以下の入力ルールで設定を行います。

タブ名	項目名	ルール
機器分類	【項目名】	項目名を入力します。入力必須です。 例)購入年度 重複はできません。 制御文字は入力できません。 30 文字以内で入力してください。
	【グループ】	グループ名を入力します。 例)2010、2011、2012 分類内で重複はできません。 制御文字は入力できません。 30 文字以内で入力してください。 ※  をクリックすることで、最大 300 件まで入力行が追加されます。  をクリックすると行を削除します。
自由入力	【項目名】	項目名を入力します。入力必須です。 重複はできません。 制御文字は入力できません。 30 文字以内で入力してください。
	【説明】	説明を入力します。 制御文字は入力できません。 100 文字以内で入力してください。

2.4 一括機器設定

SDカードの利用を禁止する／カメラの利用を禁止する／リモートロックを行う／リモートワイプを行うなど、機器の動作を制限することが可能です。これらを行うには、事前に制限内容を「設定セット」で指定しておき、この設定セットを機器に適用することにより、機器の制限が実現されます。当画面では、複数の機器に対して設定セットの一括適用を行うことができます。

※機器の指定はグループ単位で行います。機器分類およびユーザーカスタム項目を利用することで、効果的に一括機器設定をご利用いただけます。分類を登録していない場合は、全ての機器を対象とした設定のみ可能です。

⇒機器分類を新規作成する 9 ページ

⇒ユーザーカスタム項目を新規作成する（「管理サイト ユーザーマニュアル 組織/ユーザー」の「ユーザーユーザーカスタム項目ーユーザーカスタム項目を新規作成する」を参照）

※「一括変更」をクリック後に、機器への同期が行われます。

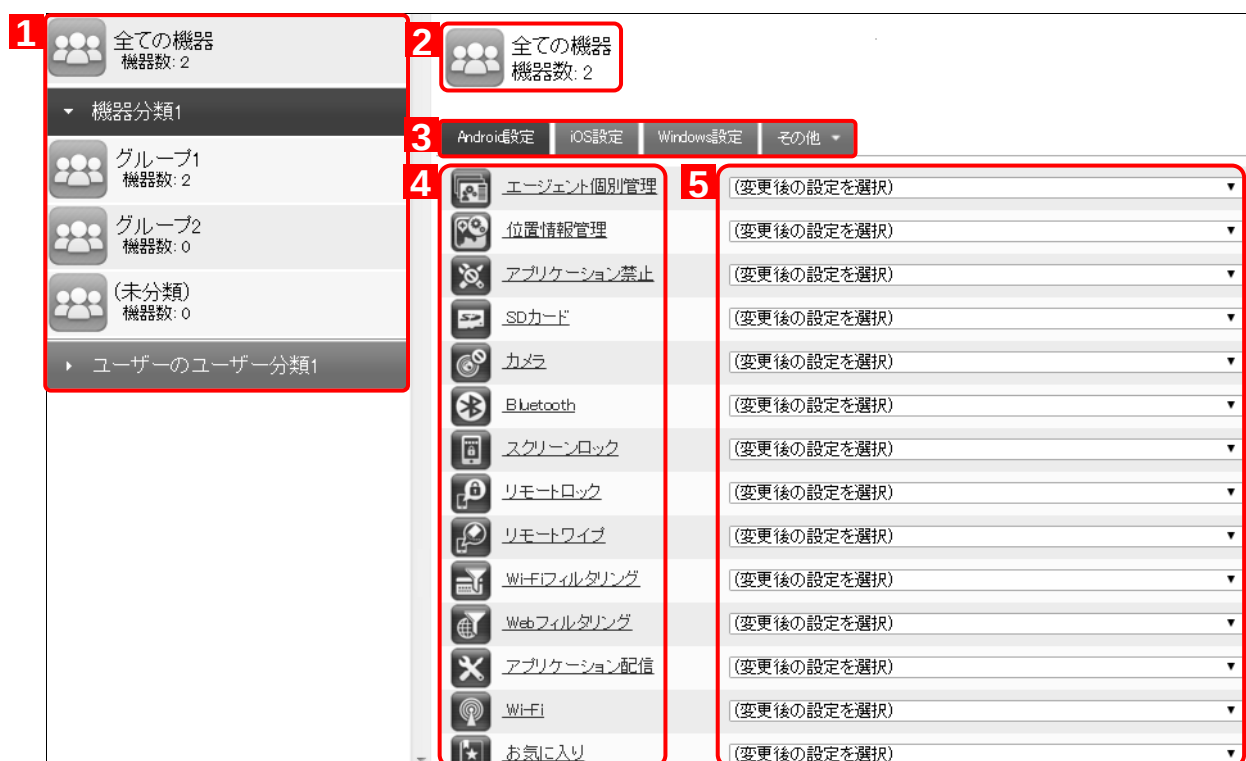
反映されるまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存するため、お急ぎの場合は、機器ごとに設定をし、同期を行ってください。

⇒単一の機器に設定テンプレートを適用する（「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作ー機器」を参照）

2.4.1 一括機器設定画面を表示する

一括機器設定画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [一括機器設定]をクリックします。



項番	対象	説明
1	グループ一覧	一括機器設定の適用対象として、選択可能なグループが表示されます。ユーザーカスタム項目および機器分類を登録していない場合は、[全ての機器]のみが表示されます。 適用対象とするグループをクリックしてください。
2	選択グループ名	一括機器設定の適用対象として選択中のグループ名および、グループに所属している機器数が表示されます。一括設定の適用前に対象に間違いがないことを、ご確認ください。
3	機能タブ	一括機器設定が可能な機能をまとめているタブです。一度の操作で適用できるのはいずれか1つのタブのみです。各タブの概要は以下のとおりです。 【Android 設定】 Android 機器に対して一括機器設定が可能な機能をまとめています。 【iOS 設定】 iOS 機器に対して一括機器設定が可能な機能をまとめています。 【Windows 設定】 Windows 機器に対して一括機器設定が可能な機能をまとめています。 【その他】 ・ Android リモート操作 Android 機器に対するリモートロック／ロック解除／リモートワイプ／スクリーンロックパスワード設定をまとめています。 ・ iOS リモート操作 iOS 機器に対するリモートロック／リモートワイプ／リモートワイプ(管理領域)／パスコード削除／紛失モード／位置情報取得／紛失モード解除／アクティベーションロック解除をまとめています。 ・ Windows リモート操作 Windows 機器に対するリモートロック／ロック解除／リモートワイプ設定をまとめています。
4	機能名	一括機器設定が可能な機能名が表示されます。機能名をクリックすると設定セット作成画面が表示されます(メニュータブから各種機能名をクリックした時と同様の動作です)。
5	設定セット名	適用可能な設定セットが表示されます。 機能ごとに適用したい設定セットを指定してください。

2.4.2 一括して複数の機器に設定セットを適用する

一括して複数の機器に設定セットを適用します。

1. グループ一覧より対象とするグループをクリックします。
2. 機能タブから目的のタブをクリックします。Android 機器に対する一括設定を行う場合は[Android 設定]をクリックします。iOS 機器に対する一括設定を行う場合は[iOS 設定]をクリックします。Windows 機器に対する一括設定を行う場合は[Windows 設定]をクリックします。
3. 機能ごとに適用する設定セットを選択します。設定変更の必要がない機能に対しては初期状態である「(変更後の設定を選択)」のままで結構です。
4. [一括変更]をクリックします。
5. 確認画面で[OK]をクリックします。

※設定セットの作成手順については以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－メニュー」

※当画面では複数の機器に対する一括設定を行います。単一の機器に設定を行う場合は以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－機器－設定－単一の機器に設定テンプレートを適用する」

※本製品のご利用を解約いただいても、機器に対して行った設定はそのまま保持されるのでご注意ください。解約の際は事前に各種設定セットに「設定なし」を適用してください。

※既に何らかの設定セットが選択されている状態から「設定なし」に変更した場合、機器の持っている設定値はその時点の値のままとなり、初期値に戻すなど、設定値を変更する事は行っておりません。また、「カメラ禁止」や「アプリケーション禁止」など、機器の持っている設定項目ではなく、エージェントで制御されている機能は、「設定なし」を選択する事で、作用しなくなります。

2.4.3 一括して複数の機器にリモート操作を行う (Android 機器／iOS 機器／Windows 機器)

一括して複数の機器にリモート操作を行います。設定セットは不要です。

1. グループ一覧より対象とするグループをクリックします。
2. [その他]から[Android リモート操作]または[iOS リモート操作]または[Windows リモート操作]をクリックします。
3. 目的の操作に対する[実行]をクリックします。
4. 確認画面で[OK]をクリックします。

※実行可能なリモート操作については、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－機器－リモート操作」を参照してください。

⇒リモートロックを行う(Android 機器)

⇒ロック解除を行う(Android 機器)

⇒リモートワイプを行う(Android 機器)

⇒スクリーンロックパスワード変更設定を行う(Android 機器)

⇒リモートロックを行う(iOS 機器)

⇒リモートワイプを行う(iOS 機器)

⇒機器の管理領域のデータを削除する(iOS 機器)

⇒パスコード削除を行う(iOS 機器)

⇒紛失モードを行う(iOS 機器)

⇒位置情報取得を行う(iOS 機器)

⇒紛失モード解除を行う(iOS 機器)

⇒アクティベーションロック解除を行う(iOS 機器)

⇒リモートロックを行う(Windows 機器)

⇒ロック解除を行う(Windows 機器)

⇒リモートワイプを行う(Windows 機器)

2.5 機器インポート (新規)

ダウンロードした CSV ファイルに機器情報を入力しインポートすることで、複数のデータをまとめて登録することができます。

※インポートできるファイルサイズは 10MB までです。

※インポート内容は、次回同期時に反映されます。

※VPN の「ユーザーパスワード」にアスタリスク(*)のみで構成された文字列を指定することはできません。

2.5.1 機器インポート(新規)画面を表示する

機器インポート(新規)画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [機器インポート(新規)]をクリックします。

1. CSVファイルを準備します
「ダウンロード」ボタンをクリックしてCSVファイルをダウンロードします。
ダウンロードしたファイルの内容を編集して保存してください。

1

ダウンロード

2. CSVファイルをアップロードします
編集したCSVファイルを指定して「アップロード」ボタンをクリックしてください。
アップロード完了後、インポートの確認画面に移動します。

アップロード

2

参照...

項番	対象	説明
1	[ダウンロード]	クリックすると項目名のみが記載された CSV ファイルのテンプレートをダウンロードできます。
2	[参照]	インポートする CSV ファイルを指定します。指定したファイル名が左側に表示されます。
3	[アップロード]	指定された CSV ファイルをアップロードします。

2.5.2 新規機器をインポートする

CSV ファイルから機器の新規登録をまとめて行います。

1. 機器インポート(新規)画面を表示します。
2. [ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。
3. ダウンロードした CSV ファイルを Excel やメモ帳で開き、機器情報を入力してください。入力終了したら保存してファイルを閉じてください。
4. [参照]をクリックして、保存した CSV ファイルを選択してください。
5. [アップロード]をクリックしてください。アップロードが終了したら自動的にインポート確認画面が表示されます。
6. インポート内容に誤りがある場合は、備考欄にエラー内容が表示されます。CSV ファイルを修正し、再度アップロードしてください。
7. [インポート実行]をクリックします。インポート内容に誤りがある場合は[インポート実行]は表示されません。

※CSV ファイルの 1 行目には項目名が表示されています。機器情報の入力は 2 行目から行ってください。

※CSV ファイル内の[G]から始まる項目は機器分類です。

機器分類を登録していない場合は表示されません。

⇒機器カスタム項目を新規作成する 9 ページ

※CSV ファイル内の[C]から始まる項目は自由入力です。

自由入力を登録していない場合は表示されません。

⇒機器カスタム項目を新規作成する 9 ページ

※CSV ファイルに電話番号を入力する場合は、「TEL:」の後に電話番号を入力してください。ハイフン「-」は不要です。

※CSV ファイルの詳細な入力方法に関しては以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 付録」の「付録ーインポートデータ入力方法」

2.6 機器インポート (変更)

登録済みの機器情報を一度 CSV ファイルに出力し、編集後インポートすることで、登録データをまとめて変更することができます。

※インポートできるファイルサイズは 10MB までです。

※インポート内容は、次回同期時に反映されます。

2.6.1 機器インポート(変更)画面を表示する

機器インポート(変更)画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [機器インポート(変更)]をクリックします。

1. CSVファイルを準備します

「ダウンロード」ボタンをクリックしてCSVファイルをダウンロードします。
ダウンロードしたファイルの内容を編集して保存してください。
※項目を選択してダウンロードしたい場合は、[機器レポート](#) のCSVダウンロードを使用してください。

1 **ダウンロード**

2. CSVファイルをアップロードします

編集したCSVファイルを指定して「アップロード」ボタンをクリックしてください。
アップロード完了後、インポートの確認画面に移動します。

▲ CSVファイルをダウンロードした時点からアップロードするまでの間に、ログインしているユーザーの情報が変更された場合、変更可能な範囲や内容が変わってしまう恐れがあります。アップロードを行うユーザー自身がダウンロードした最新のCSVファイルを使っての更新を推奨します。

3 **アップロード**

2 **参照...**

項番	対象	説明
1	[ダウンロード]	クリックすると作成済みの全機器情報が記載された CSV ファイルをダウンロードできます。
2	[参照]	インポートする CSV ファイルを指定します。指定したファイル名が左側に表示されます。
3	[アップロード]	指定された CSV ファイルをアップロードします。

2.6.2 変更機器をインポートする

CSV ファイルから機器の編集をまとめて行います。

1. 機器インポート(変更)画面を表示します。
2. [ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。
3. ダウンロードした CSV ファイルを Excel やメモ帳で開き、機器情報を入力してください。入力終了したら保存してファイルを閉じてください。
4. [参照]をクリックして、保存した CSV ファイルを選択してください。
5. [アップロード]をクリックしてください。アップロードが終了したら自動的にインポート確認画面が表示されます。
6. インポート内容に誤りがある場合は、備考欄にエラー内容が表示されます。CSV ファイルを修正し、再度アップロードしてください。
7. [インポート実行]をクリックします。インポート内容に誤りがある場合は[インポート実行]は表示されません。

※変更に用いる CSV ファイルには登録済みの機器情報が表示されています。行の追加や削除は行わず、修正のみ行ってください。列の追加や削除に関しても同様です。

※CSV ファイル内の[G]から始まる項目は機器分類です。

機器分類を登録していない場合は表示されません。

⇒機器カスタム項目を新規作成する 9 ページ

※CSV ファイル内の[C]から始まる項目は自由入力です。

自由入力を登録していない場合は表示されません。

⇒機器カスタム項目を新規作成する 9 ページ

※CSV ファイルの詳細な入力方法に関しては以下を参照してください。

⇒「管理サイト ユーザーマニュアル 付録」の「付録ーインポートデータ入力方法」

2.7 機器レポート (エクスポート)

管理情報や、機器情報、設定状況を一覧で確認することができます。作成した機器レポートは機器インポート時に使用したり、CSV ファイルに出力することができます。

2.7.1 機器レポート(エクスポート)画面を表示する

機器レポート(エクスポート)画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [機器レポート(エクスポート)]をクリックします。

1

レポートに含める項目

☒ 管理 ☒ 位置 ☒ 機器検出

Android:

☒ 機器 ☒ ネットワーク ☒ Bluetooth ☒ 位置情報 ☒ バッテリー ☒ ロック ☒ 暗号化 ☒ root化

☒ Device Owner Mode ☒ ウイルス対策ソフト ☒ 設定 ☒ クライアント証明書

iOS:

☒ 機器 ☒ ネットワーク ☒ 監視対象 ☒ バッテリー ☒ ストレージ ☒ ロック ☒ OSアップデート情報 ☒ ローミング

☒ 暗号化 ☒ Jailbreak ☒ アプリカスタムモード ☒ その他の情報 ☒ 設定 ☒ Exchange設定 ☒ VPN設定 ☒ DEP

☒ クライアント証明書 ☒ VPP設定

Windows:

☒ 機器 ☒ ネットワーク ☒ プリンター ☒ ハードウェア ☒ BIOS ☒ ストレージ ☒ ログオンユーザー ☒ ロック

☒ セキュリティ ☒ 設定 ☒ クライアント証明書

2

オプション

☐ 機器インポートで使用可能な形式にする

☐ ライセンス認証待ちの機器を含める

VPPアカウント: (選択なし)

3

レポート作成

選択した項目で機器レポートを作成します。

※レポート作成後、CSVダウンロードが可能です。

項番	対象	説明
1	レポートに含める項目	レポートに出力する項目を指定します。
2	オプション	レポート出力に関するオプションを指定します。
3	[レポート作成]	レポートの作成を開始します。

2.7.2 機器レポートを確認する

機器レポートを確認します。

1. [機器レポート(エクスポート)]画面を表示します。
2. レポートに含める項目および、オプションを指定します。
3. [レポート作成]をクリックします。レポートの作成が終了すると、自動的にレポートが表示されます。

※ご契約内容により、チェック項目が異なります。

※「Jailbreak」は iOS エージェントがインストールされていない場合は表示されません。

※「機器インポートで使用可能な形式にする」にチェックを入れた場合、作成したレポートを CSV ファイルに出力し、機器インポートで使うことができます。

※レポート作成に時間がかかる場合があります。

※レポートに表示される項目はチェックされた項目や機器カスタム項目により異なります。

※オプションの「VPP アカウント」では、登録済みの VPP ライセンスを選択すると、その VPP ライセンスを保持する機器のみをレポートに出力することができます。

2.7.3 機器レポートをエクスポートする

機器レポートをエクスポートします。エクスポート時の文字コードは日本語環境では SHIFT-JIS(cp932)、その他の環境では UTF-8 となります。

1. 機器レポートを作成します。
2. レポート画面に表示されている[CSV ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。

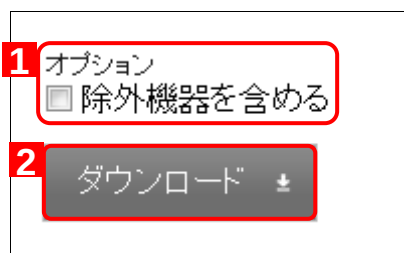
2.8 管理外機器エクスポート

管理外機器の一覧をエクスポートすることができます。管理外機器の詳細については、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－マップ－機器の種類」を参照してください。

2.8.1 管理外機器エクスポート画面を表示する

管理外機器エクスポート画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [管理外機器エクスポート]をクリックします。



項番	対象	説明
1	オプション	除外機器をエクスポート結果に含める場合は有効にします。除外機器の詳細については、「管理サイト ユーザーマニュアル 管理サイトの操作」の「管理サイトの操作－マップ－機器の種類」を参照してください。
2	[ダウンロード]	管理外機器のエクスポートを開始します。

2.8.2 管理外機器をエクスポートする

管理外機器をエクスポートします。エクスポート時の文字コードは日本語環境では SHIFT-JIS(cp932)、その他の環境では UTF-8 となります。

1. [管理外機器エクスポート]画面を表示します。
2. 除外機器をエクスポート結果に含める場合はオプションを有効にします。
3. [ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。

2.9 アプリケーションレポート

機器にインストールされているアプリケーションを一覧で確認することができます。作成したアプリケーションレポートは、CSV ファイルに出力することができます。また、アプリケーション検知を設定している場合、「インストール推奨アプリケーション」に設定されているが、まだインストールされていないアプリケーションや、「インストール非推奨アプリケーション」に設定されているが、インストールされているアプリケーションの一覧を見ることができます。また「アプリケーション名」「パッケージ名」を対象に検索を行うことで、脆弱性が明らかになったアプリなどのインストール数を確認することが可能です。

2.9.1 アプリケーションレポート画面を表示する

アプリケーションレポート画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [アプリケーションレポート]をクリックします。

The screenshot shows the 'Application Report' interface. It is divided into four numbered sections:

- 1 対象 (Target):** A dropdown menu labeled '機器名' (Device Name) with a search input field.
- 2 レポートに含める項目 (Items to include in the report):** Three checkboxes: '検知結果' (Detection Results), '管理' (Management), and '機器' (Device).
- 3 抽出条件 (Extraction conditions):** A large section containing:
 - Android: ☒ アプリケーション
 - iOS: ☒ アプリケーション(管理対象) ☒ アプリケーション(管理対象外)
 - Windows: ☒ アプリケーション
 - 製品群: (すべての製品) [dropdown]
 - 製品名: (すべての製品) [dropdown]
 - バージョン: (すべてのバージョン) [dropdown]
 - ライセンス形態: (すべてのライセンス形態) [dropdown]
 - ライセンス認証: (すべてのライセンス認証状態) [dropdown]
 - ☒ アプリケーション更新プログラム
 - ☒ Microsoft Update更新プログラム(未適用)
 - ☒ Microsoft Update更新プログラム(適用済み)
- 4 レポート作成 (Create report):** A red button labeled 'レポート作成' (Create report) with the text '選択した項目でアプリケーションレポートを作成します。' (Create an application report with the selected items.)

※レポート作成後、CSVダウンロードが可能です。

項番	対象	説明
1	対象	対象機器を指定します。対象は機器名／アプリケーション名／パッケージ名／機器分類／ユーザー分類から指定できます。
2	レポートに含める項目	レポートに出力する項目を指定します。
3	抽出条件	レポートに出力する抽出条件を指定します。
4	[レポート作成]	レポートの作成を開始します。

2.9.2 アプリケーションレポートを確認する

アプリケーションの一覧を確認します。

1. [アプリケーションレポート]画面を表示します。
2. 対象機器を指定します。対象は機器名／アプリケーション名／パッケージ名／機器分類／ユーザー分類から指定できます。
3. レポートに含める項目を指定します。
4. 抽出条件を指定します。
5. [レポート作成]をクリックします。レポートの作成が終了すると、自動的にレポートが表示されます。

※アプリケーション検知結果を出力したい場合は、「レポートに含める項目」の「検知結果」にチェックを入れてください。

※レポート作成に時間がかかる場合があります。

※レポートに表示される項目はチェックされた項目により異なります。

2.9.3 アプリケーションレポートをエクスポートする

アプリケーションレポートをエクスポートします。エクスポート時の文字コードは日本語環境では SHIFT-JIS(cp932)、その他の環境では UTF-8 となります。

1. アプリケーションレポートを作成します。
2. レポート画面に表示されている[CSV ダウンロード]をクリックして、任意の場所に CSV ファイルを保存してください。

※レポート件数詳細：

[レポートに含める項目]で[検知結果]を含めた場合は以下に示す表示内容の切り替えが行えます。

「全〇件」：

リンクをクリックすると、レポート対象機器にインストールされている全アプリを表示します。

「推奨〇件」：

アプリケーション検知で「推奨アプリケーション」に設定されているアプリケーションが表示されます。検知結果に「推奨」と表示されます。既にインストール済みのアプリケーションだけでなく、「推奨アプリケーション」に設定されているが、まだインストールされていないアプリケーションも表示され、「バージョン番号」に「未インストール」と表示されます。

「非推奨〇件」：

アプリケーション検知で「非推奨アプリケーション」に設定されているアプリケーションで機器にインストールされているアプリケーションが表示されます。検知結果に「非推奨」と表示されます。

2.10 メッセージ通知

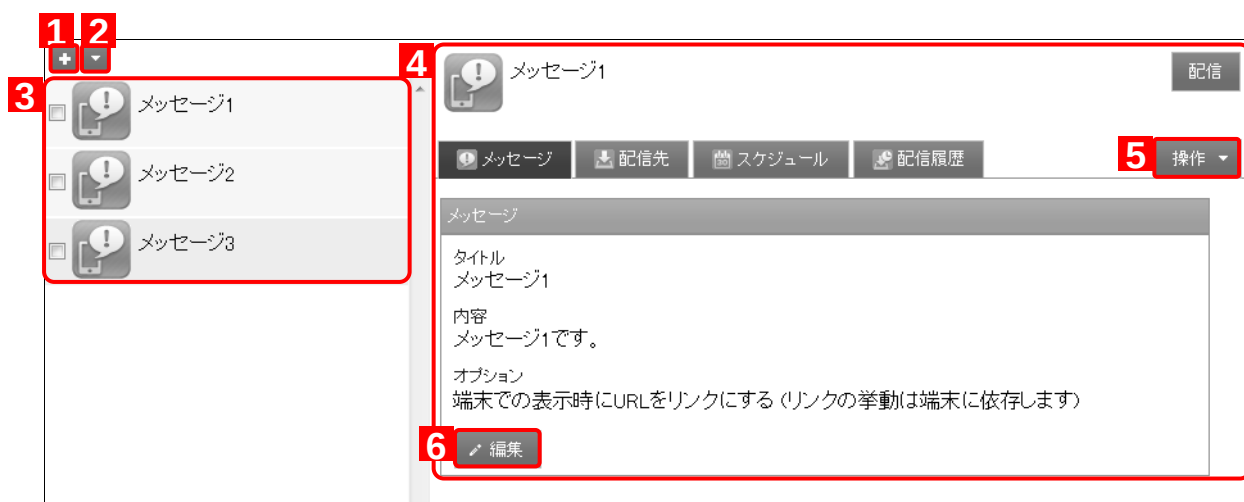
機器に対して任意のメッセージを配信することができます。

※iOS で本機能を利用する場合、端末側に iOS エージェントのインストールが必要です。

2.10.1 メッセージ通知画面を表示する

メッセージ通知画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [メッセージ通知]をクリックします。



項番	対象	説明
1	[新規作成]	クリックするとメッセージ情報欄に入力欄が表示されます。メッセージ新規作成方法は「通知メッセージを新規作成する」25 ページを参照してください。
2	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・全てにチェックを入れる：全てのチェックボックスにチェックが入ります。 ・全てのチェックをはずす：全てのチェックボックスからチェックを外します。 ・一括削除：チェックの入ったメッセージを削除します。詳細は「通知メッセージをまとめて削除する」26 ページを参照してください。
3	メッセージ一覧	登録されているメッセージ一覧が表示されます。
4	メッセージ情報	メッセージ一覧より選択したメッセージ情報が表示されます。
5	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・削除：メッセージを削除します。詳細は「通知メッセージを削除する」26 ページを参照してください。
6	[編集]	登録されているメッセージ情報を編集することができます。詳細は「通知メッセージを編集する」25 ページを参照してください。

2.10.2 通知メッセージを新規作成する

通知メッセージを作成します。入力項目に関しては、「メッセージ通知の設定セット入力値」27 ページを参照してください。

1. メッセージ通知画面より[新規作成]  をクリックします。
2. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

※通知メッセージは作成しただけでは機器に配信されません。配信先の設定を行ってください。

2.10.3 通知メッセージを編集する

作成済みの通知メッセージを編集します。入力項目に関しては、通知メッセージを新規作成する場合と同様です。

1. メッセージ一覧より対象とする通知メッセージをクリックします。
2. [編集]をクリックします。
3. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

2.10.4 通知メッセージの配信先を設定する

通知メッセージの配信先を設定します。入力項目に関しては、「メッセージ通知の設定セット入力値」27 ページを参照してください。

1. メッセージ一覧より対象とする通知メッセージをクリックします。
2. [配信先]をクリックします。
3. [編集]をクリックします。
4. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

2.10.5 通知メッセージをただちに配信する

作成済みの通知メッセージをただちに配信します。

1. メッセージ一覧より対象とする通知メッセージをクリックします。
2. [配信]をクリックします。

※通知メッセージが機器に届くまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存します。

2.10.6 通知メッセージをスケジュール配信する

通知メッセージの配信スケジュールを設定します。

1. メッセージ一覧より対象とする通知メッセージをクリックします。
2. [スケジュール]をクリックします。
3. [編集]をクリックします。
4. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

※通知メッセージの配信には、配信先の設定も必要です。

2.10.7 通知メッセージの配信履歴を確認する

通知メッセージの配信履歴を確認します。配信日時ごとに、対象機器数／未受信数／未読数／既読数が確認可能です。

1. メッセージ一覧より対象とする通知メッセージをクリックします。
2. [配信履歴]をクリックします。

※対象機器数／未受信数／未読数／既読数が0件でないとき、数値をクリックすることで該当する機器の一覧が表示されます。

2.10.8 通知メッセージを削除する

作成済みの通知メッセージを削除します。

1. メッセージ一覧より対象とする通知メッセージをクリックします。
2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
3. [削除]をクリックします。
4. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.10.9 通知メッセージをまとめて削除する

作成済みの通知メッセージを複数指定して削除します。削除したい通知メッセージが多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

1. メッセージ一覧より対象とする通知メッセージのチェックボックスにチェックを入れます。
2. [その他の操作]  をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
3. [一括削除]をクリックします。
4. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.10.10 メッセージ通知の設定セット入力値

メッセージ通知では以下の入力ルールで設定を行います。

大項目名	小項目名	ルール
メッセージ設定	【タイトル】	タイトルを入力します。メールの件名に該当します。 入力必須です。 重複はできません。 30 文字以内で入力してください。
	【内容】	内容を入力します。メールの本文に該当します。 250 文字以内で入力してください。特殊文字は入力できません。 空白類(タブ、改行等)は入力できます。
	【オプション】	オプションを有効にする場合はチェックボックスにチェックをします。オプションを有効にすると、内容に URL が含まれている場合、機器で表示した際に URL 部分がハイパーリンクとして表示されます。
配信先設定	【一括で指定】	全ての機器を配信先として指定します。「一括で指定」がチェックされている間は、他の指定は行えません。 他の指定を行う場合は、「一括で指定」からチェックを外してください。
	【機器のグループを指定】	配信先を機器分類のグループで指定します。「機器を指定」との併用が可能です。設定内で重複はできません。 ※  をクリックすることで、入力行が追加されます。  をクリックすることで、入力行が削除されます。  をクリックすることで、指定可能なグループ名が「機器分類名:グループ名」の形式で表示されます。
	【機器を指定】	配信先を機器名で指定します。「機器のグループを指定」との併用が可能です。設定内で重複はできません。 ※  をクリックすることで、入力行が追加されます。  をクリックすることで、入力行が削除されます。  をクリックすることで、指定可能なグループ名が「機器分類名:グループ名」の形式で表示されます。
スケジュール設定	【スケジュール】	配信スケジュールを指定します。以下より選択します。 ・なし：配信を行いません。 ・毎月：毎月指定した日付に配信します。29 日以降を設定した場合、その日付が存在しない月は月末配信となります。「毎月」を選択した場合、日付は入力必須です。1 以上 31 以下で入力してください。半角数字のみ入力できます。 ・毎週：毎週指定した曜日に配信します。複数の曜日が指定可能です。以下より選択します。(複数選択可) 日, 月, 火, 水, 木, 金, 土
	【配信時刻】	スケジュールにて、「毎月」および「毎週」を指定した場合、入力必須です。半角数字のみ入力できます。0 以上 23 以下で入力してください。目安となる配信時刻を入力してください。(目安であり厳密な配信時刻ではありません) ※通知メッセージが機器に届くまでの時間は、サーバーや機器の通信状態に依存します。

2.11 ネットワーク

マップで検出されたネットワークに対してネットワーク名の設定や、管理外機器の検出に関する設定を行うことができます。ネットワークには、グローバルネットワークとローカルエリアネットワークの2種類があります。グローバルネットワークは、検出前に登録しておくことも可能です。以下の画面は、特定のネットワークを一覧から選択すると表示されます。

2.11.1 ネットワーク画面を表示する

ネットワーク画面を表示します。

1. メニュータブをクリックします。
2. [ネットワーク]をクリックします。

【グローバルネットワーク】



項番	対象	説明
1	検索/並び替え	(A)には検索対象項目、(B)には並び替えの対象項目が表示されます。検索する場合は、検索するキーワードを(C)に入力し、[検索]  をクリックします。検索後、全てのネットワーク情報を再表示するにはブラウザを再読み込み、または(C)を空欄にし、再度[検索]  をクリックします。
2	[新規作成]	クリックすると入力欄が表示されます。ネットワーク管理新規作成方法は「ネットワークを新規作成する」30 ページを参照してください。
3	[その他の操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・ 全てにチェックを入れる：全てのネットワーク管理のチェックボックスにチェックが入ります。 ・ 全てのチェックをはずす：全てのネットワーク管理のチェックボックスからチェックをはずします。 ・ 検索対象：検索対象をネットワーク名、グローバル IP アドレス、ネットワークアドレス、ローカルネットワーク、備考のいずれかに変更することができます。 ・ フィルター：グローバルネットワーク、ローカルエリアネットワーク、全てのいずれかでフィルターを指定します。 ・ 並び替え 昇順：ネットワーク一覧をネットワーク名、グローバル IP アドレス、ネットワークアドレス、検出日時のいずれかで昇順に並び替えます。 ・ 並び替え 降順：ネットワーク一覧をネットワーク名、グローバル IP アドレス、ネットワークアドレス、検出日時のいずれかで降順に並び替えます。 ・ 一括削除：チェックの入ったネットワークを削除します。詳細は「ネットワークをまとめて削除する」31 ページを参照してください。
4	ネットワーク一覧	登録されているネットワーク名一覧が表示されます。
5	ネットワーク情報	ネットワーク一覧より選択したネットワーク情報が表示されます。
6	[操作]	クリックすると以下のメニューが表示されます。 ・ 削除：ネットワークを削除します。詳細は「ネットワークを削除する」31 ページを参照してください。
7	グローバルネットワーク名	好きな名前を入力します。
8	管理外機器の検出	※本機能は、管理サイトのユーザーが変更することはできません。変更したい場合は、サービス企業の管理者へお問い合わせください。 ・ 有効：管理外機器を検出し、マップに表示します。 ・ 無効：管理外機器の検出はせず、マップにも表示しません。 ※管理外機器：機器内に認証済みエージェントがない機器 ※「有効」に設定してもネットワーク内に Windows エージェントが入っている機器がない場合、管理外機器の検出を行うことはできません。
9	管理外機器のアラート	・ 有効：管理外機器をマップ上で赤く表示します。 ・ 無効：管理外機器をマップ上で赤く表示することではなく、その他の機器と同様の表示となります。 ※管理外機器：機器内に認証済みエージェントがない機器
10	備考	備考があれば入力します。
11	[編集]	登録されているネットワーク情報を編集することができます。詳細は「グローバルエリアネットワークを編集する」30 ページを参照してください。
12	グローバル IP アドレス	グローバル IP アドレスが表示されます。
13	検出日時	検出日時が表示されます。
14	ローカルネットワーク	デフォルトゲートウェイの MAC アドレスを入力します。

【ローカルエリアネットワーク】

項番	対象	説明
1	ネットワーク情報	ネットワーク一覧より選択したネットワーク情報が表示されます。
2	グローバルネットワーク名	グローバルネットワーク名が表示されます。このグローバルネットワーク名を変更する場合は、該当の「グローバルネットワーク」をネットワーク一覧から選択して編集します。
3	ローカルエリアネットワーク名	好きな名前を入力します。
4	備考	備考があれば入力します。
5	ネットワークアドレス	ローカルエリアネットワークのネットワークアドレスが表示されます。

2.11.2 グローバルネットワークを新規作成する

グローバルネットワークを作成します。入力項目に関しては、「ネットワークの入力値」32 ページを参照してください。

※ローカルエリアネットワークを新規作成することはできません。編集のみ行えます。

1. ネットワーク画面より[新規作成]をクリックします。
2. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

2.11.3 グローバルネットワークを編集する

作成済みのグローバルネットワークを編集します。入力項目に関しては、グローバルネットワークを新規作成する場合の項目に加え、デフォルトゲートウェイの MAC アドレスが追加されます。

1. ネットワーク一覧より対象とするネットワークをクリックします。
2. [編集]をクリックします。
3. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

2.11.4 ローカルエリアネットワークを編集する

ローカルエリアネットワークを編集します。

1. ネットワーク一覧より対象とするローカルエリアネットワークをクリックします。
2. [編集]をクリックします。
3. 必要事項を入力し、[保存]をクリックします。

2.11.5 ネットワークを削除する

作成済みのネットワークを削除します。

※配下に登録済みの「ローカルエリアネットワーク」を持つグローバルネットワークは削除出来ません。先に登録したローカルエリアネットワークを削除してからグローバルネットワークを削除してください。

1. ネットワーク一覧より対象とするネットワークをクリックします。
2. [操作]をクリックして操作メニューを表示させます。
3. [削除]をクリックします。
4. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.11.6 ネットワークをまとめて削除する

作成済みのネットワークを複数指定して削除します。削除したいネットワークが多数ある場合でも、一度の操作で削除可能です。

※配下に登録済みの「ローカルエリアネットワーク」を持つグローバルネットワークは削除出来ません。先に登録したローカルエリアネットワークを削除してからグローバルネットワークを削除してください。

1. ネットワーク一覧より対象とするネットワークのチェックボックスにチェックを入れます。
2. [その他の操作]  をクリックしてその他の操作メニューを表示させます。
3. [一括削除]をクリックします。
4. 確認画面で[OK]をクリックします。

2.11.7 ネットワークの入力値

ネットワークでは以下の入力ルールで設定を行います。

項目名	ルール
【グローバルネットワーク名】	グローバルネットワーク名を入力します。 1文字～30文字で入力してください。
【ローカルエリアネットワーク名】	ローカルエリアネットワーク名を入力します。 1文字～30文字で入力してください。
【管理外機器の検出】	※本機能は、管理サイトのユーザーが変更することはできません。変更したい場合は、サービス企業の管理者へお問い合わせください。 管理外機器検出の有効／無効を設定します。「有効」に設定してもネットワーク内に Windows エージェントが入っている機器がない場合、管理外機器の検出を行うことはできません。 ・有効：管理外機器を検出し、マップに表示します。 ・無効：管理外機器の検出はせず、マップにも表示しません。
【管理外機器のアラート】	管理外機器アラートの有効／無効を設定します。 ・有効：管理外機器をマップ上で赤く表示します。 ・無効：管理外機器をマップ上で赤く表示することではなく、その他の機器と同様の表示となります。
【備考】	備考を入力します。255文字以内で入力してください。制御文字は入力できません。
【デフォルトゲートウェイの MAC アドレス】	デフォルトゲートウェイの MAC アドレスを入力します。 300件まで入力可能です。重複はできません。 「XX:XX:XX:XX:XX:XX」(Xは大文字の16進数)という形式で入力してください。